

令和3年度 施策評価シート

基準日：令和4年3月31日

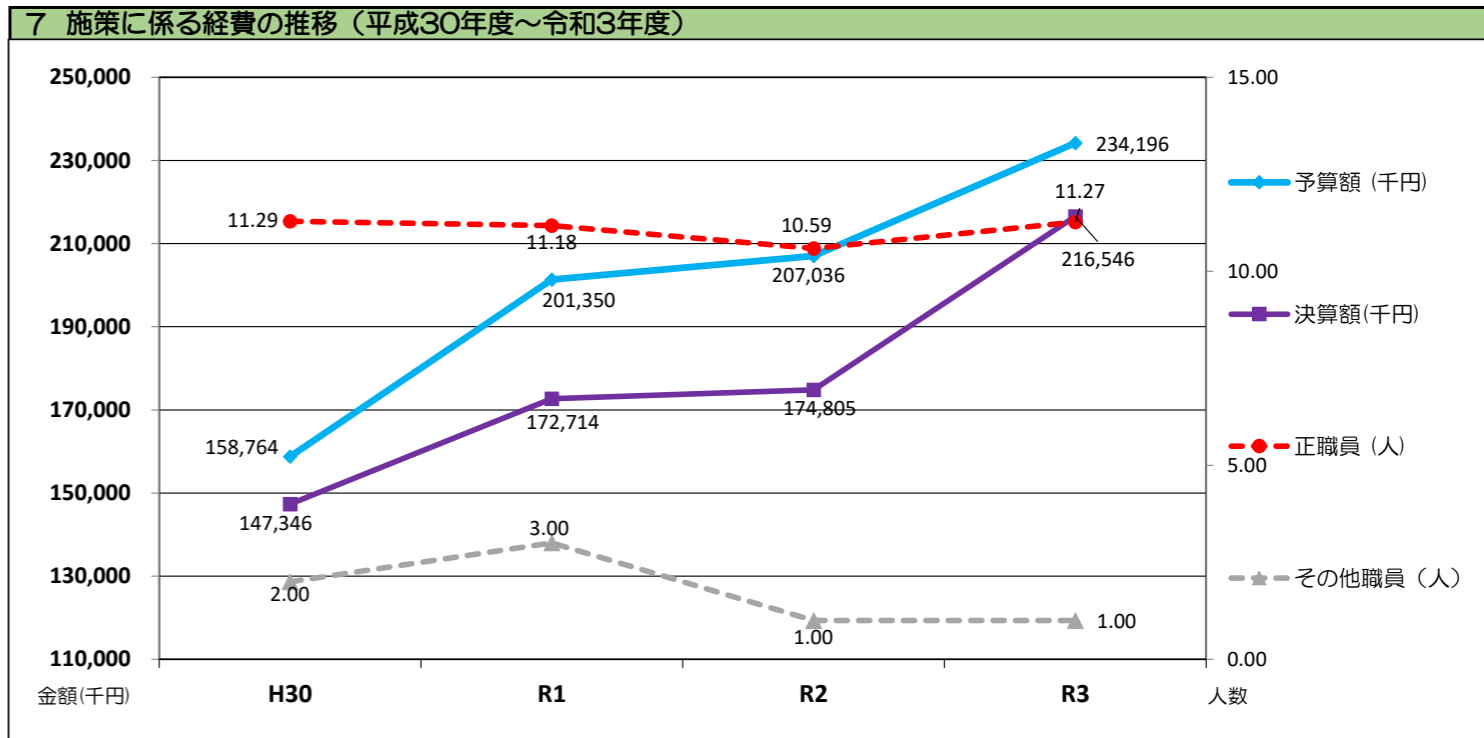
1 政策名および施策名	
政策	5 産業・雇用～活気と魅力あるまちをつくる～
施策	1 農業の振興

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	農政課
関係課	-

6 令和3年度の施策に係る経費					
経費(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	その他職員(人)	人件費(千円)	市民1人あたり(円/人)
303,506	216,546	11.27	2.00	86,960	5,622

3 施策の目的
 農業従事者の高齢化や国の農政改革など、農業を取り巻く環境が変化する中でも、農業を成長産業として捉え、担い手だけでなく地域全体で支え合い、次の世代の人々まで着実に安心して受け継いでいける農業の実現を図ります。

4 前期基本計画(平成30年度～令和4年度)に位置付けている目標指標									
指標名(単位)	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	評価
認定農業者数〔10ha以上耕作者〕(人)	目標値		25	28	31	34	37	40	B
	実績値	24	24	23	22	28	33		
農地中間管理機構への貸付面積(ha)	目標値		308	400	450	500	550	600	B
	実績値	228	330	358	422	470	485		
ほ場(30a以上)整備実施済面積(ha)	目標値		1,288	1,310	1,332	1,355	1,378	1,400	A
	実績値	1,265	1,327	1,327	1,332	1,339	1,341		
多面的機能活動組織による活動面積(ha)	目標値		520	585	650	715	755	800	C
	実績値	349	485	542	530	529	529		
グリーンツーリズム入込客数(千人)	目標値		280	285	290	300	305	310	C
	実績値	274	269	262	237	217	225		



5 これまでの取り組みと評価(平成30年度～令和3年度)	
(1) 農業後継者・新規就農者の発掘・育成・支援	評価 B
○地域農業の担い手を育成するため、認定農業者を確保(認定農業者数:215人 R4.3未現在) ○新規就農者発掘のため、県農業大学校に通う生徒に授業料等を支援(H30:1名、R1:3名、R2:1名、R3:1名) ○就農直後の新規就農者に対し、資金を交付し経営を支援(国補助10/10)(H30:3名 R1:1名 R2:1名 R3:1名) ○農業後継者の設備投資等に対する支援(H30:1名 R1:1名 R2:1名) ○経営を継承し、経営の拡大を目指す農業後継者に対する支援(国補助1/2)(R3:2名) ○はにゅう農業担い手育成塾の受け入れ(R1:1名 R2:1名)	
(2) 担い手への農地集積と生産基盤の整備	評価 A
○農業委員会の農地利用状況調査により遊休農地を確認し、農地の利用集積と遊休農地の発生防止・解消対策を実施 ・耕作放棄地解消面積:12.8ha(R4.3未現在) ○公社営埼玉型ほ場整備事業の実施[R3~R4](藤井下組(第1期)地区:4.2ha) ○県営埼玉型ほ場整備事業の実施[R3~R5]井泉大房地区:29.6ha、村君地区:51.4ha ○農業委員・推進委員と連携した農地集積(H30:25.8ha、R1:23ha、R2:31.5ha)	
(3) 地域特産物の振興と開発	評価 B
○学校給食での地元農産物の拡大に向け、新規出荷者の発掘(H30:栗種開発 R2:ポヌスファーム R3:風の子ファーム) ○農業体験を通じて羽生の特産物(米・いちご等)をPR(生活工房・三田ヶ谷小・イオンアグリ・げんき農場羽生・風の子ファーム) ○市内レストランへの地元農産物利用促進の仲介(R1年度:ベルマン) ○いちごの産地復活に向けた観光農園の充実(ロコファーム、げんき農場羽生、タカミヤ) ○6次産業化に取り組む農業者の支援(R2:2件 キッチカの整備等 R3:2件 ヲハノオの購入、キッチカの整備等) ○地元農産物の販路としてふるさと納税返礼品を活用(R2:3件 R3:5件)	
(4) 地域ぐるみで農村づくり	評価 C
○農業者と地域住民等とが一体となり、地域資源である農地や農業用排水路等の環境を良好に保つための共同活動(農業用水路の清掃や草刈り等)を実施 ・共同活動地区数、活動面積 R2年度:12地区、529.46ha、R3年度:12地区、529.46ha ○農業用排水路の整備や補修工事を行い、良好な営農環境・農村環境を整備 ・排水路整備延長 R2年度:821m R3年度:548m	
(5) 都市と農村の交流による地域活性化	評価 B
○キヤッセ羽生を拠点とした収穫体験により観光交流人口の確保を目指したが、新型コロナウイルスの影響により、来園者数は低迷した。 ・コスモスフェスティバル集客数(H30:4,500人、R1:2,500人) ・ブルーベリーまつり集客数(R1:1,400人、R2:2,000人、R3:246人) ・じゃがいも、大根収穫祭集客数(R1:3,000人、R2:788人、R3:1,400人) ○チャレンジファームと連携し、アグリフェスを開催(R3:2回) ○三田ヶ谷農林公園の指定管理者制度導入方針を決定 ○観光農園等基本構想計画への企業参入に向け農地改良(畑地改良)を実施。(R1:8.1ha(いちご2.5ha、ルブ5.6ha) R2:3ha(きゅうり、トマト)) ○羽生水郷公園水辺の花畑広場にハーブ園を整備 ○安心して来園いただけるよう、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、公園運営を実施(マスク、手洗い、消毒の徹底など)	

8 課題解決に向けた取り組みと改善策(令和4年度～令和6年度)		
令和4年度	令和5年度	令和6年度
(1) 農業後継者・新規就農者の発掘・育成・支援	○認定農業者への経営改善計画のサポート継続 ○県、JA、関係機関と連携し、法人化・企業参入等の情報収集 ○農業担い手育成塾の運営や農業後継者及び新規就農者への支援の継続 ○農産物の新たな販売方法の確保 ○スマート農業の導入支援	○同左 ○チャレンジファームと連携し新規就農者の確保を図る
(2) 担い手への農地集積と生産基盤の整備	○農業者・推進委員による農地利用状況調査を実施し、遊休農地を把握 ○遊休農地の解消や農地集積について、関係機関と協議を実施 ○農地中間管理機構との連携強化 ○県営ほ場整備事業継続地区(大房地区、村君地区)の実施 ○県営ほ場整備事業調査及び整備事業(弥勒北地区)の実施 ○公社営簡易基盤整備事業継続地区(藤井下組地区)の実施	○耕作者(担い手)の掘り起こし ○農地中間管理機構を活用した集積 ○県営ほ場整備事業実施(大房地区、村君地区) ○県事業調査継続実施(弥勒北地区) ○公社営簡易基盤整備事業実施(藤井下組地区)
(3) 地域特産物の振興と開発	○イベントや農業体験を通じた地元農産物のPR(彩のきずな、いちご等) ○いちごの産地復活、ブランド化に向けた支援 ○地元農産物を学校給食に提供できる農家等の発掘 ○アルパリ、丸いもを使った加工品の開発に向けた取り組みの充実 ○ふるさと納税返礼品の新規開拓	○イベントや農業体験を通じた地元農産物のPR ○いちごのブランド化に向けた検討 ○学校給食への農産物提供者の発掘 ○持続可能な農業の推進に向け、減農薬等の農業の取り組みを支援 ○ふるさと納税返礼品の新規開拓
(4) 地域ぐるみで農村づくり	○多面的機能支払交付金制度のPR、新規組地区の掘り起こし ○地区要望による農業用排水路の整備や補修工事について、国・県補助事業及び多面的機能支払交付金の積極的活用。	○多面的機能支払交付金の新規地区及び面積拡大の取組
(5) 都市と農村の交流による地域活性化	○観光交流人口の増加に向け、新たに春野菜の収穫体験を実施 ○キヤッセ羽生等のイベント情報を充実 ○新しい生活様式に対応した公園管理の実施 ○三田ヶ谷農林公園の指定管理者の選定 ○近隣観光施設とのネットワークを強化し、相乗効果を図る ○観光農園等基本構想計画への企業参入の選定継続及び企業との連携 ○羽生水郷公園内のハーブ園の整備	○指定管理者による三田ヶ谷農林公園の適正な管理運営 ○観光農園等基本構想計画への企業参入と地域活性化について連携強化 ○観光農園等基本構想計画への企業参入の選定継続 ○羽生水郷公園内のハーブ園の整備

令和3年度 施策評価シート

基準日：令和4年3月31日

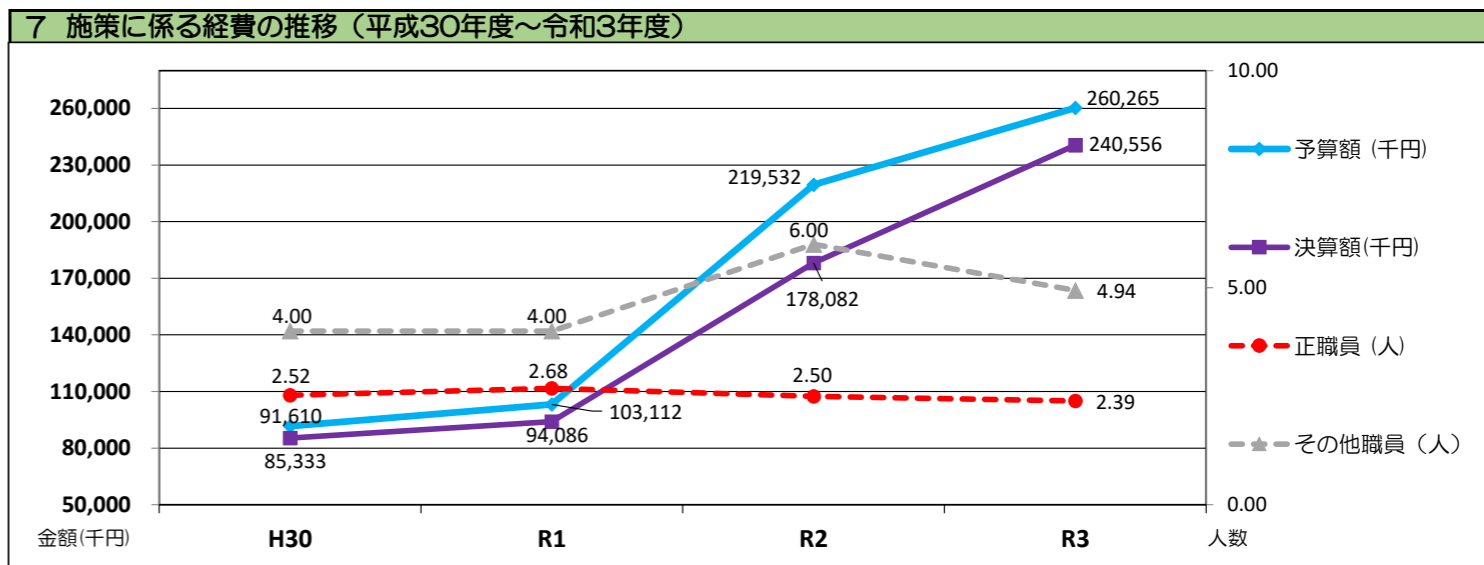
1 政策名および施策名	
政策	5 産業・雇用～活気と魅力あるまちをつくる～
施策	2 商工業の振興

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	商工課
関係課	-

6 令和3年度の施策に係る経費					
経費(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	その他職員(人)	人件費(千円)	市民1人あたり(円/人)
266,798	240,556	2.39	4.94	26,242	4,942

3 施策の目的
活気や賑わいにあふれた魅力ある商店街づくりを行い、市民が地元で便利に買い物ができるようにするとともに、地場産業をはじめとする企業活動が盛んなまちにします。

4 前期基本計画(平成30年度～令和4年度)に位置付けている目標指標										
指標名(単位)	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	評価	
卸売業・小売業の事業所数(事業所)	目標値		619	619	619	622	622	625	S	
	実績値	(616)	615	624	624	624	624			
製造品出荷額(億円)	目標値		2,430	2,444	2,458	2,472	2,486	2,500	S	
	実績値	(2,417)	2,417	2,625	2,710	2,789	2,739			
「創業支援事業計画」を活用した創業者数(件数)	目標値		6	6	7	7	8	8	C	
	実績値	5	2	2	4	4	3			



5 これまでの取り組みと評価(平成30年度～令和3年度)		
(1) 商工団体との連携による賑わいづくり	評価	A
<ul style="list-style-type: none"> ○商工会支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・商工会が行うプレミアム付商品券への補助 H30年度：5,000千円 R1年度：5,000千円 R2年度：69,500千円 R3年度：23,500千円 ○商店街賑わいづくり支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・商店街空き店舗対策モデル事業費補助金交付実績 H30年度：0件 R1年度：2件 R2年度：3件 R3年度：2件 ・空き店舗相談件数 H30：8件 R1：4件 R2：5件 R3：6件 ・MALL DESIGN実行委員会(MD)を組成 R1：45名 R2：59名 R3：76名 MDによるデリバリー・テイクアウトマップ作成 空き店舗を再生及び活用した活動拠点施設の本格運営スタート (R3) ○市民プラザ管理運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ・市民プラザの適正な管理運営 H30年度：利用件数4,051件 利用者数112,888人 R1年度：利用件数3,340件 利用者数81,078人 R2年度：利用件数1,907件 利用者数35,456人 R3年度：利用件数2,192件 利用者数57,161人 		
(2) 市内企業に対する支援	評価	A
<ul style="list-style-type: none"> ○融資あっせん・利子補給事業 <ul style="list-style-type: none"> ・小規模事業者の事業振興を図るため、セーフティネット・危機関連保証認定を実施 R2年度：519件 R3年度：23件 ・市小口融資 R1年度未融資残高：23,560,000円 R2年度末：10,773,000円 R3年度末：7,188,000円 ・利子補給 H30年度：169件 3,772,870円 R1年度：171件 3,529,860円 R2年度：156件 2,722,560円 R3年度：115件 1,895,490円 ○住宅改修補助金交付事業 <ul style="list-style-type: none"> ・市民の消費を促し、市内業者の振興を図るため、住宅の改修を行った市民に対して住宅改修補助金を実施 H30年度：65件 4,541,000円 R1年度：83件 5,980,000円 R2年度：82件 5,929,000円 R3年度：138件 10,014,000円 ○市内企業の事業継続のための支援 <ul style="list-style-type: none"> ・信用保証料補助金 R2：25件 4,596千円 R3：6件 399千円 ・(R2)事業継続・家賃支援補助金 102件 12,450千円 (R3)活力支援・経営支援補助金 518件 63,950千円 ・飲食店特化型プレミアム付商品券 R2年度：11,000千円 R3年度：18,500千円 ・とまり木パークプロジェクト 出店代表者数 R3：5名 		
(3) 地場産業の活性化	評価	B
<ul style="list-style-type: none"> ○藍染製品PRの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・プラザふれ藍ショップを運営 販売額 H30：399点 927,235円 R1：272点 722,982円 R2：177点 415,877円 R3：174点 511,218円 ・市民プラザでの体験者数 H30：926人 R1：739人 R2：288人 R3：657人 ・H25年10月から富士河口湖町で藍染製品の展示・販売 ・埼玉WABISABI大祭典に出展し、藍染製品の展示・販売・ワークショップ H30、R3：2日間 R1、2：1日間 ・ラグビーW杯熊谷開催おめでとうフェア・W杯100日前イベントに出展し、藍染製品の展示・販売・ワークショップ (R1) 4日間 ・東京オリンピック・パラリンピック1年前イベントに出展し、藍染製品の展示・ワークショップ (R1) ・全国プレゼンテーションコンクールin羽生、藍のまちさわやか羽生マラソン大会に出展し、藍染製品の展示・販売 (H30,R1) ○被服・織物産業振興事業 <ul style="list-style-type: none"> ・H29年1月から駅自由通路内のショーケースにおいて、産地産業振興協議会の構成団体が製品を展示 ・世界キャラクターさみっことin羽生において、産地産業振興協議会の構成団体が製品を展示・販売 		
(4) 創業支援の推進	評価	B
<ul style="list-style-type: none"> ○創業支援ワンストップ相談窓口事業 <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 H30：10件 R1：10件 R2：8件 R3：8件 ・創業支援事業を活用し創業した件数(延べ件数) H30：9件 R1：11人 R2：14人 R3：24人 ○創業支援セミナー開催事業 <ul style="list-style-type: none"> ・創業支援セミナー及び交流会の開催を支援し、市内で創業する方の支援を実施 参加者数 H30：16人 R1：15人 R2：11人 R3：20人 ・女性向け創業セミナーを開催 参加者数 H30：9人 R1：19人 R2：8人 R3：16人 ・シニア向け創業セミナーを開催 参加者数 R1：7人 R2：19人 R3：19人 ○羽生市創業支援事業補助金交付事業 <ul style="list-style-type: none"> ・H30：2件2,000,000円 R1：4件2,810,000円 R2：4件2,772,000円 R3：3件2,138,000円 ○羽生市創造的企業育成補助金交付事業 <ul style="list-style-type: none"> ・H30年度：0件0円 R1：1件270,000円 R2：1件22,000円 R3：無 ○チャレンジショップ出店者数 H30～R2：休業 R3：2件 ○創業機運醸成事業 R3：11人 		
(5)	評価	

8 課題解決に向けた取り組みと改善策(令和4年度～令和6年度)			
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
(1) 商工団体との連携による賑わいづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○商工会支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム付商品券事業については、引き続き商工会と連携し、市内商工業者の売上増加を図り地域経済の活性化を図る ○商店街賑わいづくり支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・羽生市NEXT商店街プロジェクト事業として、引き続き商工会等と連携し、商店街の持続的な発展のため事業を推進 ・商店街、市民プラザを拠点としたイベント等の開催 ・補助制度のPR・利用推進、利用しやすい補助制度への改正の検討 ・商店街空き店舗調査の実施 ・県と市の連携による商店街の空き店舗情報サイトのPR、利用促進 ○市民プラザ管理運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ・市民プラザの適正な管理運営 	<ul style="list-style-type: none"> ○市によるNEXT商店街プロジェクトについては補助を終了するが、実行委員会の自走に向けた取り組みを引き続き支援。それ以外は同左 	同左
(2) 市内企業に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ○融資あっせん・利子補給事業 <ul style="list-style-type: none"> ・小規模事業者の事業振興を図るため、普通貸付、特別小口融資のあっせん及びセーフティネット認定 ○住宅改修補助金交付事業 <ul style="list-style-type: none"> ・市民の消費を促し、市内業者の振興を図るため、住宅改修補助金の活用、利子補給事業の実施 ○市内企業の事業継続のための支援 <ul style="list-style-type: none"> ・国・県等の支援策の積極的なPR ・市内企業の多様な事業展開の支援、とまり木パークプロジェクトによる出店者のPR 	同左	同左
(3) 地場産業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ○藍染振興事業 <ul style="list-style-type: none"> ・地場産業を活性化するため、プラザふれ藍ショップの充実、藍染体験の利用促進、イベントへの参加、PR強化 ・2020年東京オリンピック・パラリンピックは終了するが、地場産業としての藍染製品PR、販売促進 ○被服・織物産業振興事業 <ul style="list-style-type: none"> ・地場産業関係団体に対する支援 ・羽生駅自由通路ショーケースにおける製品展示 	同左	同左
(4) 創業支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○創業支援ワンストップ相談窓口事業 <ul style="list-style-type: none"> ・創業支援事業計画に基づき、創業支援のワンストップ相談窓口において創業支援 ○創業支援セミナー開催事業 <ul style="list-style-type: none"> ・各種創業支援セミナー及び交流会の開催 ○羽生市創業支援事業補助金交付事業 <ul style="list-style-type: none"> ・県の創業・ベンチャー支援センターとの連携 ○チャレンジショップへの出店者募集 	同左	同左
(5)			

令和3年度 施策評価シート

基準日：令和4年3月31日

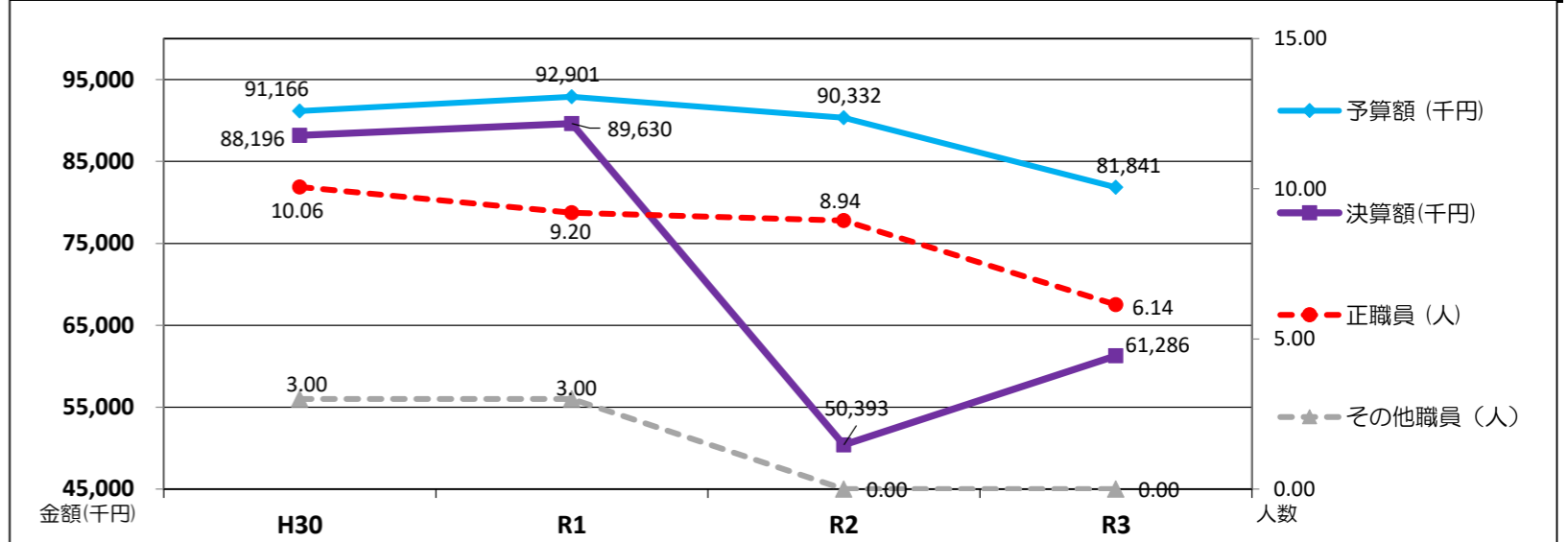
1 政策名および施策名	
政策	5 産業・雇用～活気と魅力あるまちをつくる～
施策	3 観光の振興

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	観光プロモーション課
関係課	商工課、農政課

6 令和3年度の施策に係る経費					
経費(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	その他職員(人)	人件費(千円)	市民1人あたり(円/人)
107,871	61,286	6.14	0.00	46,585	1,998

3 施策の目的
羽生らしい地域資源を観光や特産品など多様に活用し、「羽生らしさ」を伝え、地域が元気になる観光を実現することにより、地域の活性化を推進し、観光交流人口100万人を実現します。

7 施策に係る経費の推移(平成30年度～令和3年度)



4 前期基本計画(平成30年度～令和4年度)に位置付けている目標指標									
指標名(単位)	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	評価
観光交流人口(万人)	目標値		75	80	85	90	95	100	C
	実績値	66	77	73	54	31	29		
推奨品の認定数(品目)	目標値		70	78	80	80	80	80	B
	実績値	65	78	78	68	68	62		
	目標値								
	実績値								

8 課題解決に向けた取り組みと改善策(令和4年度～令和6年度)

5 これまでの取り組みと評価(平成30年度～令和3年度)		評価
(1) 観光資源の発掘と充実	<p>○ロケーションサービスについて平成28年度の「5件」から令和3年度の「24件」と急増している。引き受ける体制を広げた結果、以前撮影した制作者からのリピートが増えているので継続していく。</p> <p>○藍染体験事業について市民プラザでの体験者数は減少傾向であるが、昨今の見て来て触ってという体験志向により令和3年度はコロナ禍前の水準に近づいてきている。</p> <p>○体験型観光として利根川の川下りの観光事業化について検討を進めている。</p>	A
(2) 観光拠点の充実	<p>○キャッセ羽生ではほうれん草や人参の栽培・収穫体験を開始し、体験型メニューの充実を図った。また、三田ヶ谷農林公園への指定管理者制度の導入方針を決定し、観光拠点としての充実を計画している。</p> <p>○観光農園の整備による羽生インター周辺の観光拠点充実を図る。</p> <p>○道の駅はにゅうでのイベントを充実させPRを図る。また、拠点として周辺施設へ誘致を行い、市内観光施設等の認知度向上を図り、羽生市内で周遊できるような仕掛けを充実させる。</p> <p>○金山町、富士河口湖町との広域観光連携を図り、令和元年度にはムジナもんファンクラブ加盟店として、金山町10店、富士河口湖町11店加盟していただき、相互連携を高めている。</p>	B
(3) 観光活動推進団体の活動促進	<p>○観光人材育成支援事業として世界キャラクターさみっとin羽生実行委員によりキャラクターイベント開催による観光客誘致を図っている。また、着ぐるみアクターを行うムジナもん応援団も募集し、各種イベントへ積極的に参加している。</p> <p>○観光協会活性化事業として令和元年度に観光協会を法人化し、羽生の魅力発信のために新たな観光事業の展開を図っている。また、各団体や地域と連携した通年行事やイベント(夏祭り等)の開催についても引き続き行っている。</p>	B
(4) 観光PRの推進	<p>○「世界キャラクターさみっとin羽生」の開催により羽生の知名度向上に寄与した。今後は平成30年度に結んだキャラクターでつながる友好交流宣言を活用し、新しい観光につなげていく。</p> <p>○情勢やトレンドに応じたPRを講じるために研修を行っている。主にYouTubeによる動画配信による観光PRに注力している。</p>	B
(5)		

令和4年度	令和5年度	令和6年度	
(1) 観光資源の発掘と充実	<p>○新規のロケーション希望者を増やすため、ロケ候補地や飲食店などをHPで周知するなどPRの充実を図る。</p> <p>○市内小学校の小学生や、希望者に藍染体験を実施することや、出張藍染体験によるPRでリピーターの確保や市民プラザでの藍染体験事業の周知を図る。</p> <p>○利根川の川下り等の体験型観光の発掘と充実を図る。</p>	同左	同左
(2) 観光拠点の充実	<p>○三田ヶ谷農林公園の指定管理者の選定。</p> <p>○キャッセ羽生での収穫体験の充実を図り、近隣観光施設とも連携を図ったイベントを行う。</p> <p>○指定管理者による道の駅はにゅうの適正な管理運営を図る。</p> <p>○広域観光連携について情勢を鑑みながら重荷を図る。</p>	<p>○指定管理者による三田ヶ谷農林公園の適正な管理運営。</p> <p>○道の駅はにゅう次期指定管理者選定に向けて、適正な手続きを行う。</p> <p>それ以外は同左</p>	<p>○次期指定管理者による道の駅はにゅうの適正な管理運営。</p> <p>それ以外は同左</p>
(3) 観光活動推進団体の活動促進	<p>○観光振興のために活動する人材を発掘・育成していく。</p> <p>○観光協会の主催・共催事業や観光情報を積極的に発信・PRし、観光客のさらなる誘致につなげるため連携を図る。</p>	同左	同左
(4) 観光PRの推進	<p>○「世界キャラクターさみっとin羽生」の開催により、キャラクターによる市のイメージアップを図り、併せて本市を幅広くPRする。</p> <p>○市のHPやSNS、広報誌等を活用した積極的な市のPRを行う。</p> <p>○市の地域資源や商品の魅力を伝える映像・動画を作成し配信する。</p> <p>○企業連携やふるさと納税等他分野とも連携し観光PRを行う。</p>	同左	同左
(5)			

令和3年度 施策評価シート

基準日：令和4年3月31日

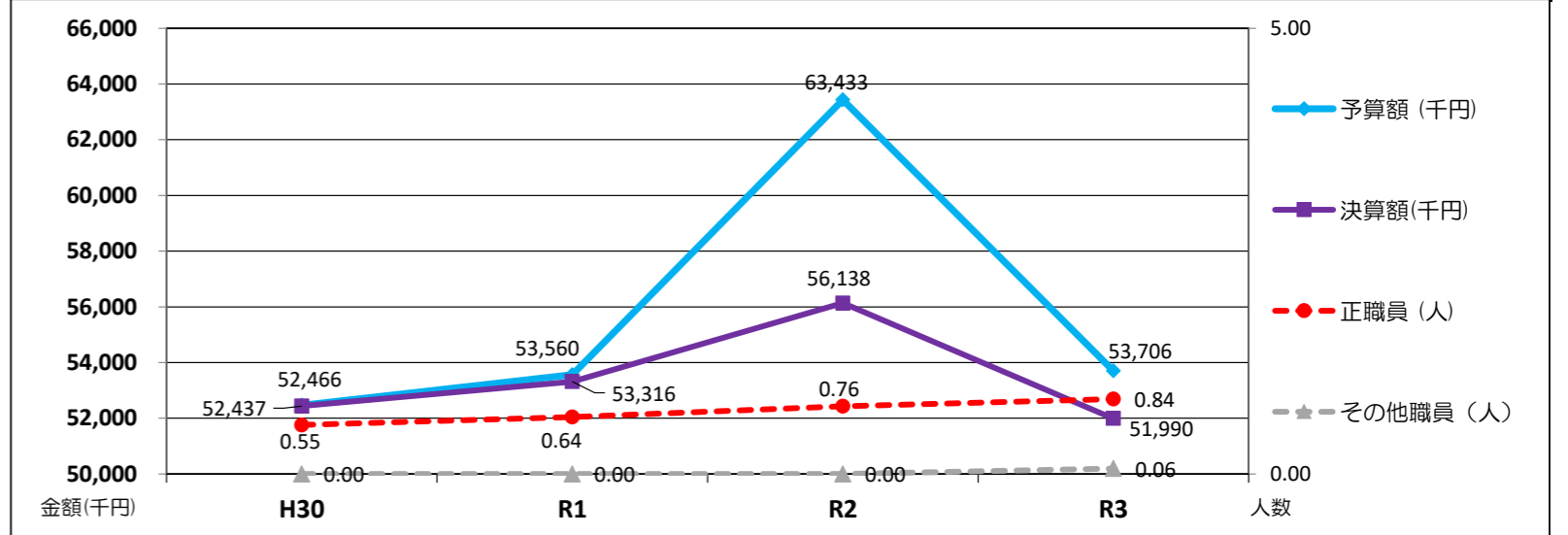
1 政策名および施策名	
政策	5 産業・雇用～活気と魅力あるまちをつくる～
施策	4 勤労者支援・雇用の促進

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	商工課
関係課	-

6 令和3年度の施策に係る経費					
経費(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	その他職員(人)	人件費(千円)	市民1人あたり(円/人)
58,510	51,990	0.84	0.06	6,520	1,084

3 施策の目的
多様化する労働環境に対応した労働行政を推進するとともに、若者から中高年までの雇用企画の創出や就労促進を図ることにより、市民の誰もが安心して働くことができるようにします。

7 施策に係る経費の推移(平成30年度～令和3年度)



4 前期基本計画(平成30年度～令和4年度)に位置付けている目標指標										
指標名(単位)	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	評価	
羽生市ふるさとハローワーク就職率(%)	目標値		36	37	39	40	41	42	A	
	実績値	35	34	41	35	29	38			
羽生市シルバー人材センター会員数(人)	目標値		338	340	343	345	348	350	B	
	実績値	335	320	334	334	327	306			
市内従業員数(人)	目標値		24,384	24,384	24,384	24,443	24,443	24,500	A	
	実績値	(24,325)	23,732	23,303	23,303	23,303	23,303			

8 課題解決に向けた取り組みと改善策(令和4年度～令和6年度)

5 これまでの取り組みと評価(平成30年度～令和3年度)		評価
(1) 就業支援の充実		B
<ul style="list-style-type: none"> ○羽生市ふるさとハローワーク等との連携 ○ハローワークの更なる利用促進のため、広報に就職相談、ハローワーク周知記事の掲載 ○内職相談事業 ・内職相談件数 H30年度：43件 R1年度：50件 R2年度：50件 R3年度：36件 ○就労支援セミナー事業 ・就労支援セミナー H30：24回135人 R1：16回130人 R2：9回110人 R3：4回57人 ・県共催セミナー、相談の実施 埼玉県労働セミナー：参加者H30：20人 R1：17人 R2：10人 R3：179人 家族のためのセミナー(R1)：参加者4人、出張プレ相談4人 (R3)：参加者3人、出張プレ相談3人 ○各種就労支援事業 ・高齢者、障害者などの雇用支援事業に関するチラシの配布・掲示 		
(2) 就労機会の創出		B
<ul style="list-style-type: none"> ○行田地区雇用対策協議会事業 ・行田地域若年者就職面接会 H30：応募企業30社 参加者23人 R1：応募企業19社 参加者51人 ・行田地域就職面接会 R2：応募企業13社 参加者58人 R3：応募企業6社 参加者69人 ・シニア向け就職面接会 R2：応募企業6社 参加者39人 R3：応募企業6社 参加者26人 ○羽生市シルバー人材センター支援事業 ・社会参加の意欲のある高齢者のために就業等の活動機会を確保・提供する事業に対しての支援 ・H27年度よりシルバー派遣事業を本格実施 		
(3) 安心して働ける環境の整備		B
<ul style="list-style-type: none"> ○中小企業従業員退職金等共済事業 ・従業員の福祉の増進を図るため、中小企業に対する退職金共済制度の適正な運営 H30：70事業所 加入者数391人 口座数1,917口 R1：67事業所 加入者375人 口座数1,800口 R2：62事業所 加入者330人 口座数1,574口 R3：57事業所 加入者306人 口座数1,455口 ○ワークヒルズ羽生管理運営事業 ・指定管理者によるワークヒルズ羽生の適正な管理運営 H30：利用件数2,472件 利用者数55,829人 R1：利用件数2,319件 利用者数50,995人 R2：利用件数1,557件 利用者数15,953人 R3：利用件数1,907件 利用者数76,817人 ○雇用継続の取組 ・雇用調整助成金申請支援補助金 R2：43件3,555千円 R3：9件723千円 		
(4)		
(5)		

令和4年度	令和5年度	令和6年度
(1) 就業支援の充実		
<ul style="list-style-type: none"> ○羽生市ふるさとハローワーク等との連携 ・ハローワークの利用促進に向けた更なるPRと連携 ○内職相談事業 ・内職の求人募集を行っている企業の掘り起こし ○就労支援セミナー事業 ・就職活動支援セミナーの開催、国・県の実施するセミナーの積極的なPR ○各種就労支援事業 ・高齢者、障害者などの雇用支援事業の積極的なPR 	同左	同左
(2) 就労機会の創出		
<ul style="list-style-type: none"> ○行田地区雇用対策協議会事業 ・ハローワークとの共催による就職面接会の実施 ○羽生市シルバー人材センター支援事業 ・社会参加の意欲のある高齢者のため、就業等の活動機会を確保・提供 ・シルバー派遣事業の積極的展開 	同左	同左
(3) 安心して働ける環境の整備		
<ul style="list-style-type: none"> ○中小企業従業員退職金等共済事業 ・中小企業従業員退職金等共済制度の適正な運営 ○ワークヒルズ羽生管理運営事業 ・指定管理者による勤労者福祉施設「ワークヒルズ羽生」の適正な管理運営 ○雇用継続の取組 ・雇用調整助成金制度のPR 	同左	同左
(4)		
(5)		

令和3年度 施策評価シート

基準日：令和4年3月31日

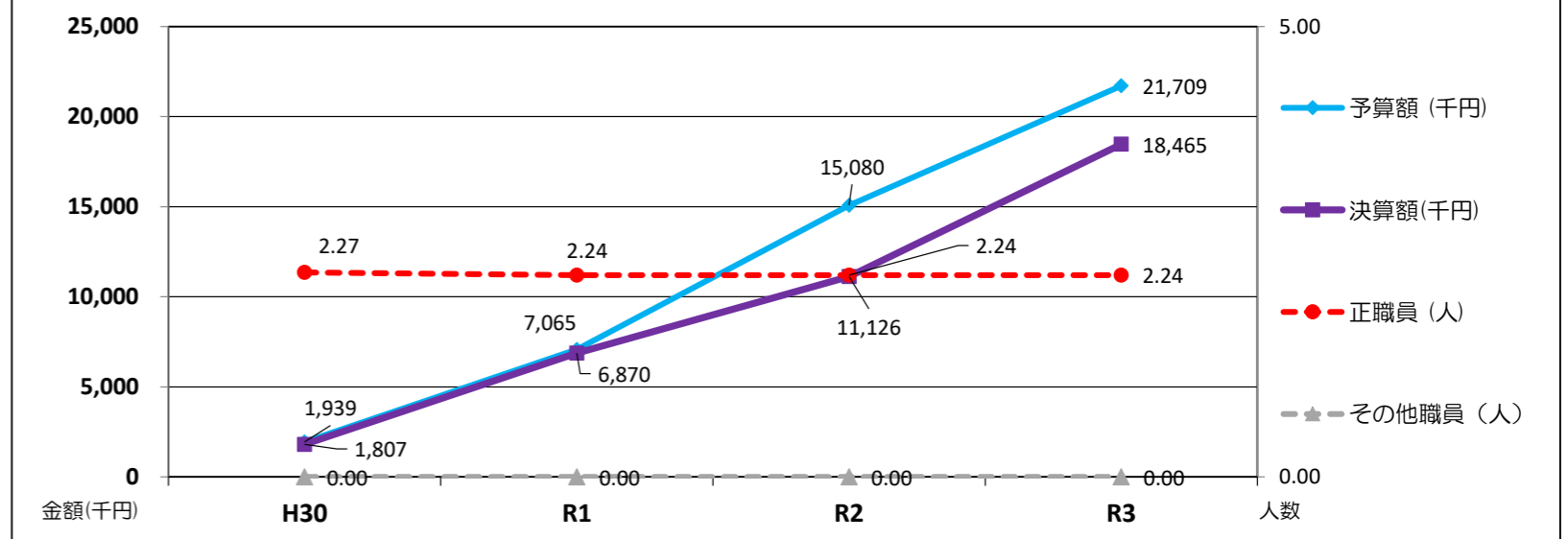
1 政策名および施策名	
政策	5 産業・雇用～活気と魅力あるまちをつくる～
施策	5 企業誘致の推進

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	企業誘致推進課
関係課	-

6 令和3年度の施策に係る経費					
経費(千円)	決算額(千円)	正職員(人)	その他職員(人)	人件費(千円)	市民1人あたり(円/人)
35,460	18,465	2.24	0.00	16,995	657

3 施策の目的
新たな企業の誘致及び既存企業の市内拡張を積極的に進め、働く場の創出や税収の確保につなげるとともに、企業活動を活性化させ市内経済の活性化を実現します。

7 施策に係る経費の推移(平成30年度～令和3年度)



4 前期基本計画(平成30年度～令和4年度)に位置付けている目標指標									
指標名(単位)	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	評価
北袋[都市計画法第34条12号指定区域]企業立地割合(%)	目標値		50	52	56	60	64	68	S
	実績値	47	51	53	61	77	77		
企業立地件数(社) [開発許可等取得件数含む]	目標値		-	5	10	15	20	25	S
	実績値	-	7	12	18	33	37		
	目標値								
	実績値								

8 課題解決に向けた取り組みと改善策(令和4年度～令和6年度)

5 これまでの取り組みと評価(平成30年度～令和3年度)		評価
(1) 企業誘致活動の積極的な展開	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致促進事業 <ul style="list-style-type: none"> 事業用地情報や企業立地優遇制度についてホームページで情報発信を行った。 企業訪問や市内外の企業へのダイレクトメール便等により市内への立地に向けた情報発信を行った。(R3年度企業訪問8社)、(R2年度アンケート送付企業139社、回答企業37社、回答率26.6%) 新たな工場等の立地を検討する企業からの相談に対して、関係各課と連携して対応した。 企業立地優遇制度の検討 <ul style="list-style-type: none"> 市内での企業誘致を効果的に進めるため、北袋地区以外の新たな優遇制度について情報収集を行った。 	A
(2) 新たな工業用地の創出・確保	<ul style="list-style-type: none"> 工業系市街地の創出(上岩瀬地区) <ul style="list-style-type: none"> 上岩瀬地区については、農林調整、都市計画変更が完了し、市街化区域に編入した。用地買収も完了し、企業局による工事の詳細設計も終了したので、R3年度より整備工事に着手した。 開発許可制度を活用した新たな工業用地の確保 <ul style="list-style-type: none"> 開発事業者に対して企業立地の可能性がある土地(北袋地区を除く)に関する助言を行い、開発許可取得にかかる手続き等について関係各課と調整の場を設けるなど総合窓口としてワンストップサービスを実施した。都計法34条12号指定区域7か所(R2:3か所、R3:4か所) 北袋地区の12号指定はR2.12.28で解除 	A
(3)		
(4)		
(5)		

令和4年度	令和5年度	令和6年度
(1) 企業誘致活動の積極的な展開	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致促進事業 <ul style="list-style-type: none"> 企業訪問や企業本社へのダイレクトメール便等により市内企業立地に向けた情報発信を行う。 企業誘致に関するパートナーシップ協定の締結 立地を検討する企業のニーズに合わせたオーダーメイド型の企業誘致に取り組む。 北袋地区に限定しない企業立地優遇制度を展開する。 	同左
新たな工業用地の創出・確保	<ul style="list-style-type: none"> 立地予定企業へのR4年度中の引渡しに向け県企業局による上岩瀬産業団地の整備を推進するとともに、関連するアクセス道路の整備についても完了させる。また、公共施設や用地の引継ぎの準備を行う。 主要国道沿道における民間活力による開発を推進するため、最適な開発手法により誘導し工業用地確保に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 上岩瀬産業団地立地企業が早期に建築工事に着手できるよう、関係各課と連携し必要な支援を行う。 主要国道沿道における民間活力による開発を推進するため、最適な開発手法により誘導し工業用地の確保に努める。
(3)		
(4)		
(5)		

令和3年度 施策評価シート

基準日：令和4年3月31日

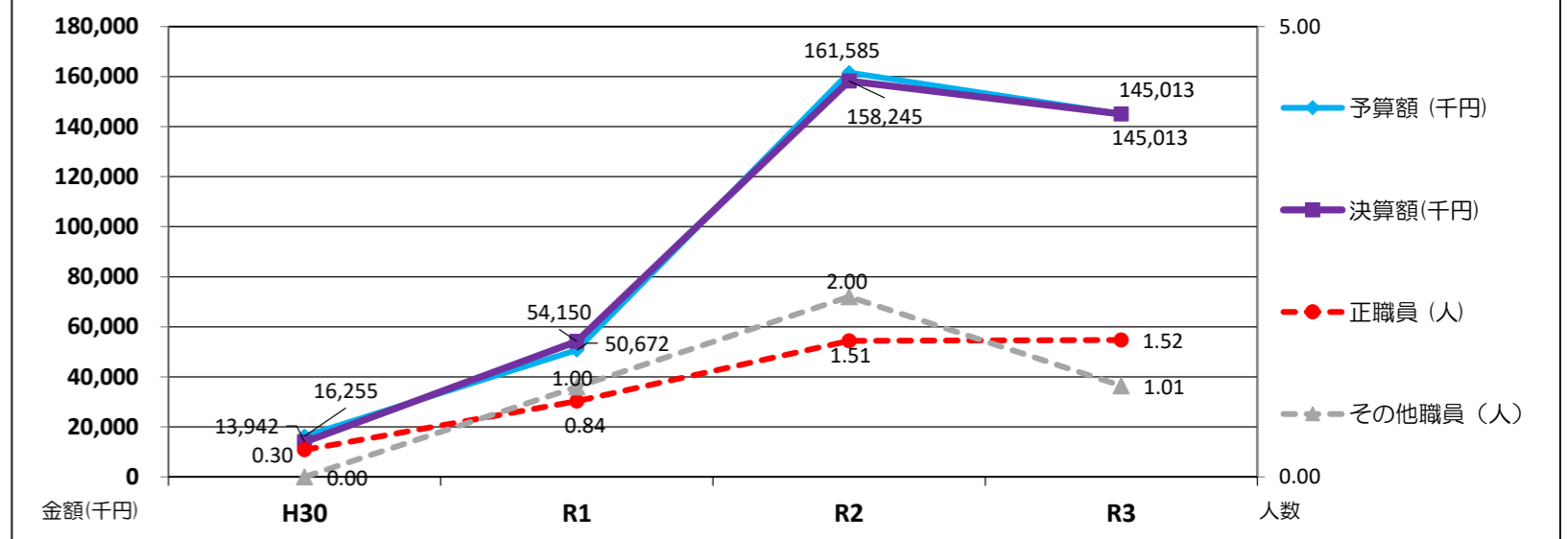
1 政策名および施策名	
政策	5 産業・雇用～活気と魅力あるまちをつくる～
施策	6 シティプロモーションの推進

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	観光プロモーション課
関係課	秘書広報課、企画課、商工課、農政課

6 令和3年度の施策に係る経費					
経費 (千円)	決算額 (千円)	正職員 (人)	その他職員 (人)	人件費 (千円)	市民1人あたり (円/人)
158,024	145,013	1.52	1.01	13,011	2,927

3 施策の目的
本市に住むことを誇りに感じ、推奨する人を増やすとともに、本市の魅力を経営的に発信し、観光交流人口や流入人口の増加につなげます。

7 施策に係る経費の推移 (平成30年度～令和3年度)



4 前期基本計画 (平成30年度～令和4年度) に位置付けている目標指標									
指標名 (単位)	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	評価
ホームページ閲覧件数 (件)	目標値		540,000	540,000	550,000	560,000	570,000	580,000	S
	実績値	530,678	601,708	652,026	737,749	1,271,736	1,355,757		
SNS登録者数 (人)	目標値		2,200	2,360	2,520	2,680	2,840	3,000	S
	実績値	2,005	2,053	2,116	2,271	3,685	18,704		
	目標値								
	実績値								

8 課題解決に向けた取り組みと改善策 (令和4年度～令和6年度)

5 これまでの取り組みと評価 (平成30年度～令和3年度)		評価
(1) シティプロモーションの推進	○コンテンツマネジメントシステム (CMS) を導入したホームページによって、情報を迅速かつ効果的に発信した結果、閲覧件数も伸びている。 ○ふるさと納税寄附額が1億円を超え返礼品となる市内で生産された物産品のPRにつながった。 ○SNS (市公式LINE) を活用してコロナワクチン接種予約を促進したことにより、登録者が急増した。多くの市民がLINEの発信を見ることができ、最新情報の発信がより行き届くようになった。 ○YouTubeを活用した動画配信により観光や市の情報を発信し、わかりやすいPRを展開した。	S
(2) 地域ブランドの推進	○藍染製品PRの推進として市民プラザ内のふれ藍ショップにて藍染製品を販売している。また、富士河口湖町でも藍染製品の展示、販売を行っている。また、令和3年度より青織の市と称し藍染PRを主軸とした主催イベントを開催しPRを図っている。 ○ふるさと納税返礼品提供事業者による新たなブランド創出を支援している。 ○令和2年度には羽生市内のいいものを開発するにあたり補助金を創設し5店舗が羽生いいものの開発に取り組み製品化した。新たにふるさと納税返礼品として加わったものもあり効果があったと考えられる。	A
(3)		
(4)		
(5)		

令和4年度	令和5年度	令和6年度
(1) シティプロモーションの推進		
○公式ホームページを活用し、市の魅力や特長を効果的に発信することで、幅広いシティプロモーションにつなげる。 ○ふるさと納税返礼品の充実により寄附額向上と地域資源のPRを図る。 ○LINEを活用して情報を有効的に発信する。 ○YouTube等の動画配信を活用しわかりやすくPRする。	同左	同左
(2) 地域ブランドの推進		
○藍染製品のPRとしてイベントへの参加や自主開催を継続して行う。 ○ふるさと納税サイトの活用を促し、事業者による新たなブランド創出を支援する。	同左	同左
(3)		
(4)		
(5)		